

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
東海医療学園専門学校		昭和7年8月3日		杉山 誠一		〒 413-0006 (住所) 静岡県熱海市桃山町20-7 (電話) 0557-82-0459		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人東海医療学園		昭和13年3月27日		杉山 誠一		〒 413-0006 (住所) 静岡県熱海市桃山町20-7 (電話) 0557-82-0459		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
医療	医療専門課程		鍼灸マッサージ科		平成10(1998)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必須の知識・技術を授け、豊かな人間性を育み、広く社会に貢献できる人材を育成する。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率 等)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師国家資格を目指す。中退率4.2%							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			101 単位	76 単位	単位	4 単位	単位	21 単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
120 人	98 人		0 人		0 %	4 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		20		人			
	■就職希望者数(D)		17		人			
	■就職者数(E)		16		人			
	■地元就職者数(F)		5		人			
	■就職率(E/D)		94.1%		%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		31.3%		%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		80.0%		%			
	■進学者数		3		人			
	■その他							
	国家資格未取得のため、次年度受験に向けての準備 (令和 6 年度卒業者に関する令和7年 5 月 1 日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 鍼灸マッサージ治療院、整骨院、在宅医療関係、開業、など							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL							
当該学科のホームページURL	https://www.tokaicom.ac.jp							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位時間			
	うち必修授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数				101 単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				25 単位			
	うち企業等と連携した演習の単位数				7 単位			
	うち必修単位数				25 単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				7 単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数				0 単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				0 単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				4 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				3 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				1 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				0 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				8 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必要な知識・臨床能力を修得させ、更に施術者としての人間性(社会常識、良好なコミュニケーション能力、患者中心の医療を実践する態度、社会貢献に努める態度など)を身につけることを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での意見や要望は、学校長、専任教員構成による教育会議にて検討及び決定を受け、反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在			
名 前	所 属	任期	種別
齊藤恭二郎	(公財)静岡県鍼灸マッサージ師会 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
中村 聡	(公財)静岡県鍼灸師会 名誉会長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
澤登 拓	株式会社フレアス 代表取締役会長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
矢田 真樹	三島大蔵鍼灸院 院長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
神田 浩至	東海医療学園講師(手あて指あつ処 あい治療院 院長)	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	
朝日山一男	東海医療学園講師(朝日山治療室院長)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	
水野 浩一	東海医療学園専門学校(教務課長)		
杉山 誠一	東海医療学園専門学校(学校長)		

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月9日 16:00～17:30

第2回 令和6年11月12日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

医療従事者としてのコミュニケーション力を強化するため、「読解力、国語力」をつける指導をして欲しい、という委員からの要望を反映するため、入学前プレ学習などにより「聞く力」「読む力」がつく内容を取り入れている。1年生は朝に登校し附属施術所内の衛生管理など職業意識の向上を図ること、2、3年生は臨床実習指導員である鍼灸マッサージ師に外部施設(治療院、福祉施設など)で、プロフェッショナル修得を目的とした臨床実習を実施している。また、委員から懸念があったICT教育の導入によるタブレット等の活用方法(主に社会人入学者)においても、細やかに指導しており順調に進んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

医療人として必要な、知識、技術、コミュニケーション力をバランスよく身につけることを目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

習得した知識・技術を礎に、更に実践できる能力の向上、職業人としての態度、習慣を身につけることを目的に、企業、職能団体等の専門家を招聘し、校内での実習、演習を行う。評価方法については、試験、レポート、授業態度等総合的に行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
地域保健医療論	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	高齢社会における東洋療法のニーズを知るとともに、高齢者の特性を踏まえた診療ができるよう、必要な知識、技能ならびに態度を身に付ける。	朝日山治療室
スポーツ鍼灸臨床論	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	スポーツ分野の鍼灸施術において必要な知識、技術を習得し、適切な施術を行なうことができる能力を身につける。	朝日山治療室
指圧基礎実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	身体の変調を東洋医学の考え、身体の構造などを理解した上で、手技療法の基礎となる基本手技を学ぶ。	手あて指あつ処 あい治療院 院長
指圧応用実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	身体の変調を東洋医学の考え、身体の構造などを理解した上で、手技療法の基礎となる手技の応用技術を学ぶ。	手あて指あつ処 あい治療院 院長
総合学習Ⅰ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	あん摩マッサージ指圧施術および鍼灸施術における最新の知識、技術を習得し、適切な施術を行なうことができる能力を身につける。	(株)フレアス

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 就業規則において「学園は職員に対し、必要な知識・技能の向上を図るため、医療機関、業団体、企業等、学外において研修を受けさせることがある」と表記しており、実践的な職業教育を行う上で必要な実務の卓越性、並びに指導力の向上を図ることを目的として、企業等との連携に基づいた研修、研究を行うこととしている。	
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 全日本鍼灸学会学術大会「つながり、通じ、いかす鍼灸」	連携企業等： 全日本鍼灸学会
期間： 令和6年5月24日～26日	対象： 専任教員
内容 有識者による講演、シンポジウム、パネルディスカッションの聴講等	
研修名： 解剖見学実習	連携企業等： 鶴見大学歯学部
期間： 令和6年8月2日	対象： 専任教員
内容 人体解剖の見学、説明の聴講。(学生も課外実習として同日実施)	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 東洋療法学校協会教員研修会	連携企業等： 東洋療法学校協会
期間： 令和5年8月24日～25日	対象： 専任教員
内容 学生への学習並びに生活指導などに対する資質向上を目的とし、有識者の講義などを聴講	
(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： 全日本鍼灸学会学術大会「女性のみかたⅡ」	連携企業等： 全日本鍼灸学会
期間： 令和7年5月30日～6月1日	対象： 専任教員
内容 有識者による講演、シンポジウム、パネルディスカッションの聴講等	
研修名： 解剖見学実習	連携企業等： 鶴見大学歯学部
期間： 令和7年8月8日	対象： 専任教員
内容 人体解剖の見学、説明の聴講をすることで、今後の講義内容へ反映させる。(学生も課外実習として同日実施)	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 中堅教職員研修	連携企業等： TCE(職業教育・キャリア教育)財団
期間： 令和7年8月28日～29日	対象： 専任教員
内容 教員としての必要な資質、能力を高め、教授力を高めることを目的とする。	
研修名： 東洋療法学校協会教員研修会	連携企業等： 東洋療法学校協会
期間： 令和7年8月7日～8日	対象： 専任教員
内容 学生への学習並びに生活指導などに対する資質向上を目的とし、有識者の講義などを聴講する	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育水準の向上を図り、東海医療学園専門学校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動、学校運営等の状況について、学校評価委員による評価結果を基に学校関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・方針の周知、教育目標の設定
(2)学校運営	諸会議の実施、危機管理体制、防災対策
(3)教育活動	わかりやすい授業への取組、技能教育の充実向上、資格試験合格率の向上
(4)学修成果	適切な成績評価、卒後教育の実施、学習モチベーション向上
(5)学生支援	生活習慣に関する指導、進路相談・指導の充実、健康管理、生活支援相談の
(6)教育環境	適正な教員配置、施設・設備の充実、教材・教具等の充実
(7)学生の受入れ募集	広報活動
(8)財務	予算編成及び執行、財務状況の分析
(9)法令等の遵守	労務管理、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	地域スポーツへの貢献、介護予防に関する取組
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

近年、定員充足が難しくなっていることから、委員からも改善案として高校、地域住民等へ更にアピールすべきである旨の提案があった。その意見等を踏まえ、高校における出張授業、学園祭の再開(コロナ禍で中断)など多角的に活動を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
矢田 真樹	静岡県鍼灸学術研究会 会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	学識経験者
齋藤恭二郎	公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会理事長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	業団体
中村 聡	公益社団法人静岡県鍼灸師会名誉会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	業団体
井出 啓之	とがみえん児童クラブ代表	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	教育関係者
澁谷 哲平	東海医療学園専門学校校友会副会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.tokaicom.ac.jp>

公表時期: 令和7年6月4日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業、職能団体等との連携を図るため、学校の教育活動・運営状況等について十分理解してもらうことを目的として積極的な情報提供を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神と教育理念、設置学科、年間行事
(2)各学科等の教育	カリキュラム、教科概要
(3)教職員	教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	ゼミナール、卒後教育研修コース
(5)様々な教育活動・教育環境	施設紹介、総合臨床センター紹介、アスレティックトレーナー専攻コース
(6)学生の生活支援	学生サポート、進路と国家試験
(7)学生納付金・修学支援	奨学金について、学生納付金
(8)学校の財務	学校評価報告書と情報公開
(9)学校評価	学校評価報告書と情報公開
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.tokaicom.ac.jp>

公表時期： 令和7年6月4日

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			メディカル英会話	英語を媒体とし良好なコミュニケーションによって正しい施術に当たることが出来るように学ぶ	1前	30	2	○			○			○		
2	○			生命科学Ⅰ	生物の基本的な構造や機能について学ぶ。	1前	30	2	○			○				○	
3	○			生命科学Ⅱ	生物の基本的な構造や機能について学ぶ。	1後	30	2	○			○				○	
4	○			メンタルトレーニング	心理学に関する基本的な知識と、現場での心理学のテクニックを学ぶ。	1後	30	2	○			○				○	
5	○			栄養学	身体の健康を保つための食物の供給と、肉体的、精神的、社会的健康の維持の重要性を学ぶ。	1前	30	2	○			○				○	
6	○			人間関係学	人間関係のあり方を見直し、新たな人間関係のあり方を考え、周囲と協調していく力を養う。	1前	30	2	○			○				○	
7	○			人体の構造と機能Ⅰ	患者の診察及び治療にあたって必要な人体の構造、機能について学ぶ。	1通	90	3	○			○			○	○	
8	○			人体の構造と機能Ⅱ	患者の診察及び治療にあたって必要な人体の構造、機能について学ぶ。	1通	90	3	○			○				○	○
9	○			人体の構造と機能Ⅳ	患者の診察及び治療にあたって必要な人体の構造、機能について学ぶ。	1通	60	2	○			○			○		
10	○			衛生学・公衆衛生学	人間の健康に影響を及ぼす諸因子を踏まえ、疾病予防、健康増進の知識について学ぶ。	1通	60	2	○	△		○			○		
11	○			東洋医学概論Ⅰ	東洋の自然哲学、東洋医学における人体の構造や機能、病理観などについて学ぶ。	1通	60	2	○			○			○		
12	○			経絡経穴概論	絡経穴についての概要、意義、取穴法について学ぶほか、経絡経穴の名称・部位・解剖学的特性についても習得する。	1通	60	2	○			○			○		
13	○			触察演習	体表解剖、身体計測・取穴の基本となる体表のランドマークを観察及び触察の演習を行う。	1通	30	2	○	○		○			○		
14	○			あん摩基礎実習	あん摩施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	1通	60	2			○	○			○	○	
15	○			マッサージ基礎実習	マッサージ施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	1通	60	2			○	○			○		
16	○			指圧基礎実習	指圧施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	1前	30	1			○	○			○	○	○
17	○			鍼灸基礎実習Ⅰ	鍼灸施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	1通	60	2			○	○			○		
18	○			鍼灸基礎実習Ⅱ	鍼灸施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	1通	60	2			○	○			○		
19	○			臨床実習	患者に対する臨床実践を通して、施術者としての態度・習慣、並びに安全・適切な施術を行うための基本的能力を養う。	1通	45	1			○	○	○	○			
20	○			人体の構造と機能Ⅲ	患者の診察及び治療にあたって必要な人体の構造、機能について学ぶ。	2通	30	1	○			○			○		
21	○			人体の構造と機能Ⅴ	患者の診察及び治療にあたって必要な人体の構造、機能について学ぶ。	2通	90	3	○			○			○		
22	○			病理学概論	病態生理学に関する知識として、疾病の原因、成り立ち、経過等に対する形態的、機能的変化について習得する。	2通	60	2	○			○			○		
23	○			臨床医学総論	臨床にあたる上で必要な診察法や検査法を習得し、施術の適否を判断する能力を養う。	2通	60	2	○			○				○	
24	○			臨床医学各論Ⅰ	各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。	2通	60	2	○			○			○		
25	○			臨床医学各論Ⅱ	各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。	2通	60	2	○			○				○	
26	○			東洋医学概論Ⅱ	病気の予防、診察、治療において適切な対応ができるよう、東洋医学的診断法である弁証論治について学ぶ。	2通	60	2	○			○				○	
27	○			診察学Ⅰ	臨床にあたる上で必要な整形外科的、神経学的検査の診察過程の意義を理解し、基本的知識・技術を習得する。	2通	60	2	○	△		○			○		

28	○			運動機能評価	臨床に必要な身体計測、関節可動域、徒手筋力検査法などについて学ぶ。	2通	30	1	○	△		○		○		
29	○			臨床経穴学	経絡経穴について、特に重要視され用いられている要穴について学ぶとともに、奇穴、経穴の運用法、病証などを学ぶ。	2後	60	1	○			○		○		
30	○			あん摩応用実習	あん摩施術が円滑に行える技術を習得する。また施術機会の多い症状に対する施術が行える技術を身につける。	2通	60	2				○	○		○	○
31	○			マッサージ応用実習	特殊な部位におけるマッサージ施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。	2通	60	2				○	○		○	
32	○			指圧応用実習	指圧施術の基本的な技術・知識を活かし、安心、安全、安定を目指し、様々な技術の融合をはかる。	2後	60	2				○	○			○
33	○			鍼灸応用実習Ⅰ	各症候に対する鍼灸施術にあたって、必要な基礎的知識・技術を習得する。	2通	60	2				○	○		○	
34	○			鍼灸応用実習Ⅱ	鍼灸臨床において、必要な知識・技術を身につけるとともに、流れ、方法、バランスを考えた施術が出来る能力を身につける。	2通	60	2				○	○		○	
35	○			臨床実習	施術者としての態度・習慣、並びに安全・適切な施術を行うための基本的能力を養う。	2通	45	1				○	○	○	○	○
36	○			医療面接	良好な患者と医療関係者関係を構築する為に必要な、医療面接を行うことができる能力を習得する。	2通	30	1		○		○				○
37	○			健康増進学	健康づくりと基本的生活習慣、スポーツの関わり方について学ぶ。	3前	30	2	○				○			○
38	○			臨床医学各論Ⅲ	各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。	3通	60	2	○				○		○	
39	○			リハビリテーション医学	理学療法に関する基本的な知識・技術を習得し、チーム医療の重要性を理解し、リハビリテーションに寄与する能力と態度を身につける。	3通	60	2	○				○		○	
40	○			医療概論	日本の医療制度、医療倫理について学ぶ。	3通	45	2	○				○		○	
41	○			あん摩マッサージ指圧理論	あん摩マッサージ指圧の意義、基本手技、臨床応用、リスク管理、治効の基礎、関連学説について学ぶ。	3後	30	1	○				○		○	
42	○			鍼灸理論	鍼灸の基礎知識、臨床応用、リスク管理、治効理論の基礎、関連学説について学ぶ。	3通	60	2	○				○		○	
43	○			診察学Ⅱ	病気の予防、診察、治療での適切な対応ができるよう、東洋医学的診断法、治療原則、治療方法について学ぶ。	3通	60	2	○				○			○
44	○			東洋医学臨床論Ⅰ	臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基づいて、適切な施術ができるための知識を習得する。	3通	60	2	○				○		○	
45	○			東洋医学臨床論Ⅱ	臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基づいて、適切な施術ができるための知識を習得する。	3通	60	2	○	△			○		○	
46	○			臨床病態学	様々な症状における病態生理学的知識や、診察法などの知識を身につけることを目的とする。	3前	30	1	○				○			○
47	○			臨床推論	様々な症例から、臨床判断に至るまでのプロセスを学ぶことを目的とする。	3通	45	2	○				○		○	
48	○			地域保健医療論	地域医療保健に貢献することのできる施術者になるため、在宅ケアにおいて適切な施術を提供できる知識・技術・態度を身につける。	3通	60	2	○	△			○			○
49	○			臨床実習	患者に対する臨床実践を通して、施術者としての態度・習慣、並びに安全・適切な施術を行うための基本的能力を養う。	3通	90	2				○	○		○	
50	○			鍼灸応用実習Ⅲ	各症候に対する鍼灸施術にあたって、必要な基礎的知識と技術を習得する。	3通	60	2				○	○			○
51	○			スポーツ鍼灸臨床論	スポーツ分野の施術において必要な知識・技術を習得し、適切な施術を行うことができる能力を身につける。	3通	60	2	○	△			○			○
52	○			女性小児の東洋療法	女性・小児に対する東洋療法で必要な知識・技術を習得し、適切な施術を行うことのできる能力を身につける。	3前	30	1	○	△			○			○
53	○			総合学習Ⅰ	患者の問題に対して習得した知識を統合、活用して問題の発見、解決に至る能力を養う。また、あはき史、リスク管理等についても学ぶ。	3通	60	2	○				○		○	○
54	○			総合学習Ⅱ	患者の問題に対して習得した知識を統合、活用して問題の発見、解決に至る能力を養う。また、あはき史、リスク管理等についても学ぶ。	3通	60	2	○				○		○	
合計					54 科目			101 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 所定の単位を全て修得した者、及び卒業認定試験に合格した者		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 学則及び細則に準じて行う		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。